

「文字を読もうとしない子、読解力を高めるためには？」

最近ではスマートフォンやパソコン、タブレットなど ICT 機器が普及している時代です。

子ども達の周りにもインターネットを通じて短い文章のやりとりをしたり、画像を見る機会が増える一方、本などの文章を読む機会が減ってきました。

大人でも、長い文章を見ると拒絶反応が出て読めなかったり、また文章を理解して読む事が出来なかったり、そんな状況が多くなっています。

つまり、大人も子どもも文字を読み取る力「読解力」が身につけていないようです。

読解力で読み取るものは文章だけではなく、画像や映像、会話や表情、雰囲気も含まれ、読解力がなければこれらを十分に読み取れず、コミュニケーションに支障が出てきます。

「読解力を高める」為には、語彙力を高める事が大切です。

以前、子どもの語彙力についてご紹介した時に「しりとり遊び」がとてもお勧めの遊びであるとお伝えしましたが、それ以外にも「連想ゲーム・いろはにこんぺいとう」などは、とっても楽しくて効果的です。

「いろはにこんぺいとう、こんぺいとうは甘い⇒ あまいは、お砂糖 ⇒ お砂糖は白い ⇒ 白いはウサギ・・・」など、単語から連想する言葉を出していくゲームです。懐かしいですね。

昔は、皆さんもこんな言葉遊びをされていたのではないのでしょうか。

言葉遊びこそが、子どもの語彙力を育て、またそれが文章を読み取る、読解力へと繋がるのです。

言葉を知らないと、文章を読んでも意味が分からない、理解できないのは当たり前！

分からない言葉が出てきたら、調べる習慣をつけると良いですね。

言葉が増えると理解が深まり、楽しくなるもの。

大人も子どもも、少しデジタルなものから離れて、言葉遊びを楽しんでみませんか。

これからの季節、秋の夜長に読書などはいかがでしょう。